

平成26年度予算の概要

平成26年2月12日に平成26年第1回広域連合議会定例会で議決された平成26年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計当初予算及び後期高齢者医療特別会計当初予算の概要については、次のとおりです。

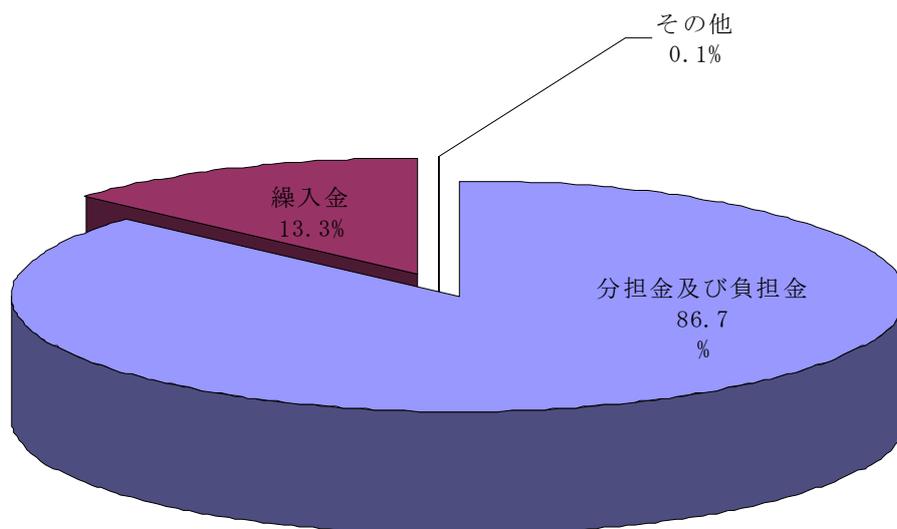
I 一般会計予算

広域連合議会の運営や派遣職員の人件費負担金、事務所賃借料などの広域連合の運営経費として、平成26年度は、歳入歳出それぞれ10億5,544万1千円を計上し、前年度比3,182万2千円、2.9%の減になりました。

《歳入予算》

歳入の区分と、その予算額は次のとおりです。

区 分	説 明	予 算 額
分担金及び負担金	共同事務経費に対する広域連合を構成する23市町の負担	9億1,490万4千円
国庫支出金	医療費が著しく低い市町に住む被保険者の保険料軽減に伴う、軽減額の1/2の国の負担	0円
県支出金	医療費が著しく低い市町に住む被保険者の保険料軽減に伴う、軽減額の1/2の県の負担	0円
財産収入	財政調整基金、臨時特例基金の運用利子	20万4千円
繰入金	財政調整基金からの繰入	1億4千万円
繰越金	前年度からの繰越	1千円
諸収入	預金利子、その他の収入	33万2千円
合 計		10億5,544万1千円



※構成割合は端数調整していないため、合計が100%にならない場合があります。

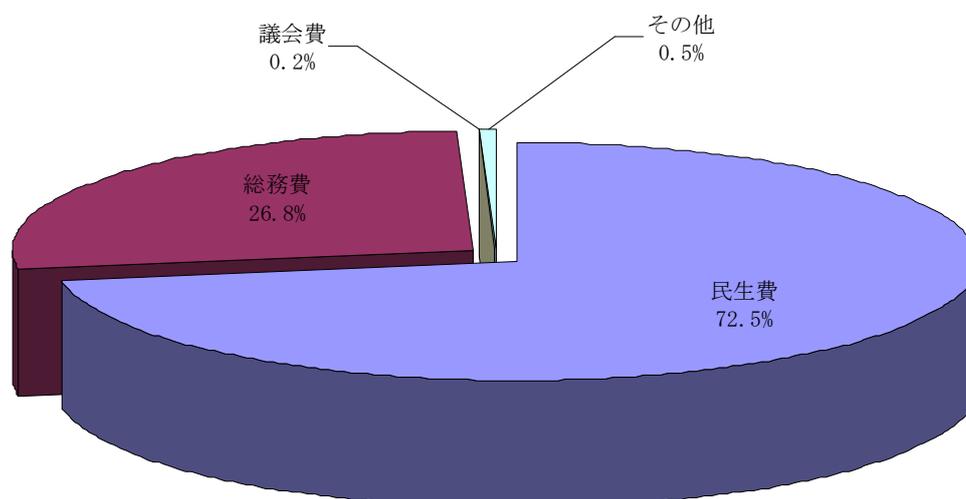
《歳出予算》

歳出の目的別、性質別の区分と、その予算額は次のとおりです。

【目的別内訳】

予算を行政の目的により区分したものです。

区 分	説 明	予 算 額
議会費	広域連合議会の運営に関する経費	191 万 3 千円
総務費	消耗品費, 光熱水費, 事務所借上料, 各市町から派遣されている職員の人件費負担金等, 広域連合の運営に関する経費	2 億 8,300 万 7 千円
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等に充てるための繰出金	7 億 6,535 万 8 千円
公債費	一時的な現金不足に対処するため, 金融機関等から借り入れる場合の支払利息	16 万 3 千円
予備費	予期しなかったことなどで予算外や予算超過の支出に充てるための経費	500 万円
合 計		10 億 5,544 万 1 千円



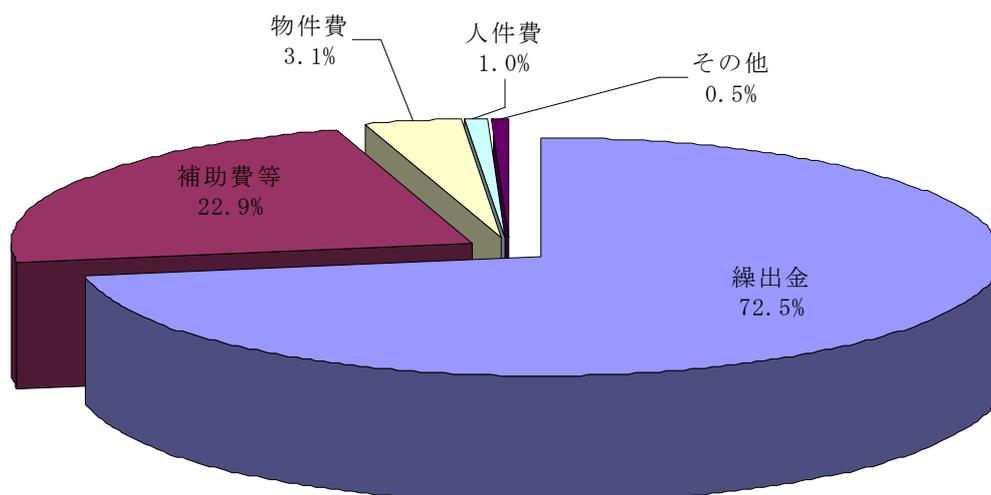
※構成割合は端数調整していないため、合計が100%にならない場合があります。

【性質別内訳】

予算を経済的な性質により区分したものです。

区 分(※)	説 明	予 算 額
人件費	正副広域連合長，広域連合議会議員や各種委員の報酬，派遣職員の時間外手当及び管理職手当など	1,019万2千円
物件費	賃金，事務用品，通信費，事務委託及び事務所等使用料など	3,315万3千円
補助費等	派遣職員の給料や各種手当(人件費に計上されているものを除く)の負担金など	2億4,137万円
公債費	一時的な現金不足に対処するため，金融機関等から借り入れる場合の支払利子	16万3千円
積立金	財政調整基金への積立	20万5千円
繰出金	後期高齢者医療特別会計の事務費等に充てるための繰出	7億6,535万8千円
予備費	予期しなかったことなどで予算外や予算超過の支出に充てるための経費	500万円
合 計		10億5,544万1千円

※区分は，総務省「地方財政状況調査」に基づいています。



※構成割合は端数調整していないため，合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ 後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療制度の給付に係る費用（被保険者の自己負担分を除く）の財源構成は、公費（約5割）及び75歳未満の若年者からの支援金（約4割）のほか、被保険者からの保険料負担（約1割）となっています。

このうち公費負担については、国・県・市町が4対1対1の割合で負担します。

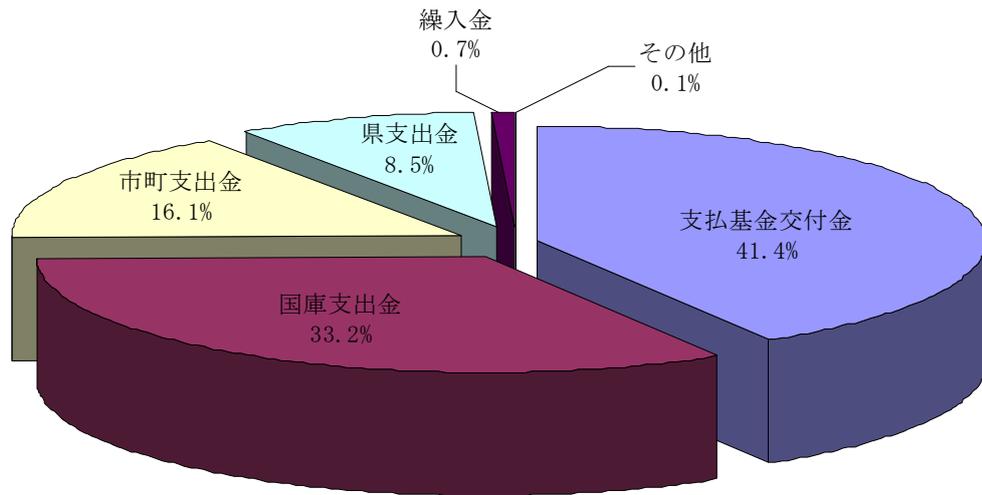
平成26年度は、歳入歳出それぞれ3,827億73万9千円を計上し、前年度比39億2,196万8千円、1.0%の減となりました。

《歳入予算》

歳入の区分と、その予算額は次のとおりです。

区 分	説 明	予 算 額
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた給付(※1)の1/12相当の市町の負担	614億4,253万9千円
国庫支出金	被保険者が受けた給付(※1)の3/12相当、広域連合間の財政調整を目的とした交付金(給付の1/12相当)、健康診査事業補助などの国の負担	1,272億4,159万2千円
県支出金	被保険者が受けた給付(※1)の1/12相当など県の負担及び財政の安定や保険料上昇抑制のために県に設置されている財政安定化基金からの交付金	324億7,357万7千円
支払基金交付金	被保険者が受けた給付(※1)の約4/10相当の各保険者(75歳未満)からの支援金	1,583億4,731万8千円
特別高額医療費共同事業交付金	著しく高額な医療給付の財政への影響を緩和するため国保中央会から交付	5,636万円
財産収入	給付準備基金の運用利子	195万7千円
繰入金	一般会計からの事務費等及び基金からの給付費の財源の繰入金	28億158万6千円
繰越金	前年度からの繰越	1千円
県財政安定化基金借入金	財政の安定のため、県に設置されている財政安定化基金からの借入	1千円
諸収入	交通事故などの第三者行為に伴う納付金、その他の収入	3億3,580万8千円
合 計		3,827億73万9千円

(※1) 被保険者が受けた給付とは、療養給付費、療養費、移送費、高額療養費及び高額介護合算療養費です。



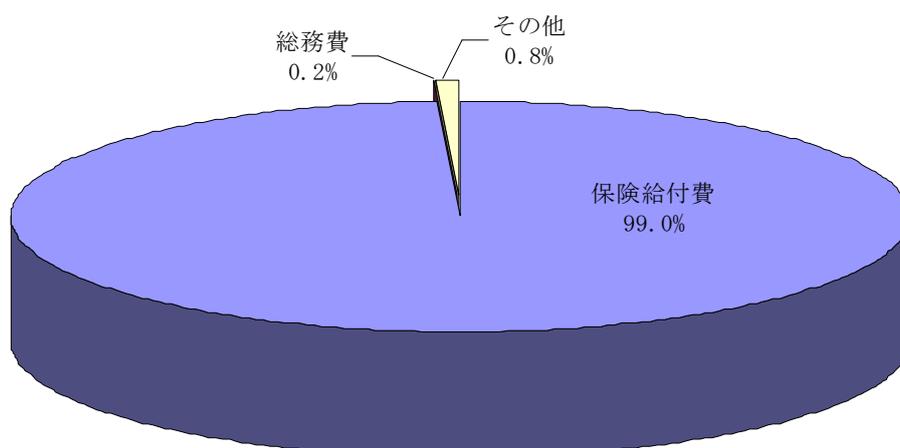
※被保険者から徴収した保険料は、市町支出金に含まれています。

※構成割合は端数調整していないため、合計が100%にならない場合があります。

《歳出予算》

歳出の目的別区分と、その予算額は次のとおりです。

区 分	説 明	予 算 額
総務費	印刷製本費，郵送料，電算関連委託料など 後期高齢者医療制度の運営に関する事務 経費	7億6,717万2千円
保険給付費(※2内訳 は次ページ)	被保険者が受けた医療等に関する給付等の 経費	3,790億710万8千円
県財政安定化基金拠 出金	財政の安定などのために県に設置されてい る財政安定化基金への拠出	1億7,007万2千円
特別高額医療費共同 事業拠出金	全国の各広域連合が著しく高額な医療給付 による財政への影響を緩和するための拠出	8,506万9千円
保健事業費	被保険者の健康診査等に関する経費	3億2,254万8千円
基金積立金	保険料の余剰が生じた場合の給付準備基金 等への積み立て	22億7,976万1千円
公債費	一時的な現金不足に対処するため，金融機 関等から借り入れる資金に対する支払利息	324万7千円
諸支出金	過誤納付された保険料の還付金等	4,076万2千円
予備費	予期しなかったことなどで予算外や予算超過 の支出に充てるための経費	2,500万円
合 計		3,827億73万9千円



※構成割合は端数調整していないため，合計が100%にならない場合があります。

(※2) 保険給付費の内訳

区 分	説 明	予 算 額
療養給付費	被保険者が医療機関等で受けた医療等への給付	3,601 億 9,793 万 6 千円
療養費	被保険者が医療費の全額をいったん医療機関等の窓口で支払ったとき、その額から一部負担金相当額を控除した額の給付	31 億 2,430 万 7 千円
移送費	被保険者が医師の指示により療養上一時的・緊急的な必要性がある場合に、転院などのための移送費の給付	20 万円
審査支払手数料	診療報酬明細書(※3)に記載された診療内容の審査及び医療機関等への支払に関する手数料	7 億 4,227 万 9 千円
高額療養費	医療機関等で自己負担限度額を超えて支払った額の給付	140 億 6,858 万 3 千円
高額介護合算療養費	医療費と介護サービス及び介護予防サービス利用の負担額の合計が自己負担限度額を超えた額の給付	1 億 9,325 万 3 千円
葬祭費	被保険者が死亡した場合の給付	6 億 8,055 万円
合 計		3,790 億 710 万 8 千円

(※3) 診療報酬明細書とは、医療機関等で診察を受けた際、被保険者の自己負担分以外の料金、すなわち広域連合の負担する料金を医療機関等が請求するための書類。レセプトとも言う。